

母の誕生日

URL : <https://youtu.be/k7EH-h-Uivl>

今回は「母の誕生日」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立ててください。

■自己紹介と私の母

私の名前は吉田涼太、22歳です。今は実家から少し離れたところで一人暮らしをしています。大学生で、勉強をしながらアルバイトもしています。家族は私にとってとても大切な存在です。今日は、母の誕生日についてお話ししたいと思います。

私の母の名前は吉田和子で、今年55歳になります。母の誕生日は3月15日です。私たちが家族にとってとても特別な日です。

母は、私が小さい頃からいつも家族を大切にしてくれる人です。どんなに忙しい日でも、家の中を温かくしてくれました。毎日、美味しい料理を作ってくれたり、私が学校から帰った時は、おかえり、と優しく声をかけてくれたりしました。その優しさや笑顔が、私にとって安心できる場所でした。一人暮らしを始めた今、母のありがたさや優しさをさらに強く感じます。

日本では、母の日という、母に感謝を伝える特別な日があります。母の日には、カーネーションの花を贈ったり、母に、ありがとうと伝えるのが習慣です。でも、誕生日はさらに特別な日です。母自身に向けての感謝をより深く伝える日で、毎年家族みんなで少しずつ工夫をして、母が喜んでくれるようなお祝いをしています。

今年の母の誕生日には、私が母のために手作りの料理やケーキを用意しようと考えています。母はいつも家族のためにたくさんの料理を作ってくれるので、今回は私がそのお返しをしたいと思っています。

さらに、家族みんなで集まって、母に直接、ありがとうの気持ちを伝える時間も計画しています。こうして、家族全員で感謝を形にして伝えることが、母の誕生日をもっと特別にしているのです。母の誕生日は、家族が集まり、絆を深め、心から感謝を伝える大切な機会です。

■特別な日の準備開始

母の誕生日が近づいたころ、私は何か特別なことをして母を喜ばせたいと思いました。母はいつも私たち家族のために一生懸命で、たくさんの愛をくれます。そのため、この日は母が少しでも幸せを感じられるような一日にしたいと考えました。

まず、誕生日の数週間前から計画を立て始めました。何をすれば母が一番喜ぶのかを考えました。母は家族と一緒に過ごす時間や、心を込めたプレゼントをととても大切にしています。そこで、今年は手作りのケーキと、母が喜びそうなプレゼントを用意することにしました。

ケーキ作りは初めてではありませんが、母のために作るのは特別な挑戦でした。母が好きなイチゴをたくさん使ったケーキにしようと思い、まず材料を集めました。ふわふわのスポンジケーキを作り、甘さ控えめのクリームでデコレーションしようと考えました。また、見た目も美しくしたいので、イチゴをかわいく並べて母に喜んでもらえるよう工夫するつもりです。

次に、プレゼントについても考えました。日本では、誕生日には感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈ることがよくあります。母は自然が好きで、特に花や緑を見るのが好きです。そこで、部屋に置ける小さな観葉植物を選びました。この植物は、少しのお水で元気に育つので、毎日忙しい母でもお世話が簡単です。育て方の説明も書きました。

さらに、カーネーションの花も一緒にプレゼントしようと考えました。カーネーションは日本で、母への愛を表す花です。この花を見ると、母もきっと嬉しい気持ちになると思います。こうして、私は母の誕生日を心から喜んでもらえるよう、手作りのケーキと特別なプレゼントの準備を始めました。この準備をしている間、母の笑顔を想像しながら、ますます楽しみになりました。

■サプライズ当日の朝

母の誕生日当日、私は朝早く起きて、ケーキの仕上げを始めました。前日にスポンジケーキを焼いておいたので、当日はデコレーションをするだけです。母が好きなイチゴをたっぷり使って、見た目もきれいに仕上げることを目指しました。一つひとつ丁寧にイチゴを並べながら、母の喜ぶ顔を想像していました。ケーキが完成した後、慎重に箱に入れて持ち運びの準備をしました。ケーキが崩れないように、そっと包んでしっかり固定し、実家までの道のりを気をつけながら運びました。少しドキドキしながらも、「母がこのケーキを見てどんな反応をするだろう」とワクワクした気持ちもありました。

実家に到着すると、家族もすでに準備を始めていました。妹はリビングに飾るための風船や装飾を準備し、父もプレゼントをきれいにラッピングしてくれていました。私はケーキを冷蔵庫にしまい、家族と一緒に最後の仕上げを進めました。家族と協力して準備をしていると、家の中がだんだんと明るく、楽しい雰囲気になっていきました。皆で、「母がどれだけ驚くかな？」と話し合いながら準備を進め、期待が高まっていきました。

私の家族は、こうしてみんなが協力して特別な日を準備することがよくあります。この時間は、家族の絆を深める大切な瞬間でもあります。最後に、母への、「おめでとう」と書かれたカードを準備しました。こうして、母へのサプライズがすべて整い、特別な日を迎える準備が完了しました。

■サプライズと母のリアクション

準備がすべて整い、いよいよ母がリビングに入ってくる瞬間を迎えました。私たちは、母がどんな反応をするのかワクワクしながら待っていました。母がリビングに入った瞬間、部屋いっぱいに広がる飾りや手作りのケーキにとっても驚いていました。私は母に、「お誕生日おめでとうっ！」と声をかけ、家族全員で拍手をしました。母は少し驚きながらも、すぐに笑顔になり、「ありがとう」と小さく言いました。その瞬間、母がとても嬉しそうな表情を浮かべていたのを見て、私たちも本当に嬉しい気持ちになりました。母が喜んでくれる姿を見ると、頑張っ準備してよかったと心から思いました。

つぎ わたし つく み はは おどる すてき
次に、私が作ったケーキを見せると、母はさらに驚いて、「こんなに素敵なケ
ーキを作ってくれたの？」と感動してくれました。私が、「母さんが好きなイ
チゴをたくさん使ったよ」と伝えると、母は目を輝かせて、「本当にありがと
うね」と言ってくれました。このケーキには、私の感謝の気持ちがたっぷり詰
まっているので、その気持ちが母に伝わったようでとても嬉しかったです。

ご 家族 ひとり はは きも ことば つた
その後、家族一人ひとりが母に「ありがとう」の気持ちを言葉にして伝えまし
た。私たちは普段、なかなか感謝の気持ちを直接言葉にすることが少ないため、
このように特別な日に改めて伝えられるのは貴重な機会でした。母も涙ぐみな
がら「みんなの気持ちがすごく嬉しいよ」と話してくれました。

にっぽん みうち たい かんしゃ きも ことば おお
日本では、身内に対して感謝の気持ちをはっきりと言葉にすることがあまり多
くありません。しかし、こうして大切な日にしっかりと伝えることで、気持ち
がさらに深まると感じました。母も、私たち家族も、言葉を交わすことでさら
に絆が深まったように感じました。
このサプライズは、家族がお互いを大切に思い合っていることを実感する素晴
らしい時間となりました。

■ 手作り料理と家族の団らん

はは せいこう のち わたし かぞく いっしょ しょくじ じかん たの
母へのサプライズが成功した後、私たちは家族で一緒に食事をする時間を楽し
みました。私は、母の好きな料理を手作りで用意しました。
母は、家庭料理が大好きで、特に味噌汁や煮物といった、伝統的な日本の料
理が好きです。そこで、母が喜ぶように、できるだけ本格的な和食を作ること
を目指しました。

みそしる はは す やさい い ころ こ あじつ
まず、味噌汁には母の好きな野菜をたっぷり入れ、心を込めて味付けしまし
た。味噌の香りがふわっと広がり、家の中がとても温かい雰囲気になりました。
また、煮物も、母の好きな根菜を使ってじっくり煮込み、優しい味に仕上げま
した。これらの料理は、母がよく作ってくれた思い出の味です。今回は私がそ
の味を再現することで、母に感謝の気持ちを伝えたかったのです。家族みんな
がテーブルを囲み、「いただきます」と言って食事を始めました。

にほん かぞく かこ たいせつ かぞく じかん
日本では、家族みんなでテーブルを囲むことが、大切な家族の時間とされてい
ます。食事の間、母は、「すごく美味しいね」、「こんなに心を込めて作って
くれてありがとう」、と言ってくれました。

私は母が喜んでくれたことがとても嬉しく、作ってよかったと心から感じました。さらに、食事をしながら、母が家族のためにいつも料理を作ってくれることに改めて感謝の気持ちが湧き上がりました。

また、家族で食卓を囲みながら、母に「いつもありがとう」と伝えることができました。母も笑顔で「みんながこうして一緒に過ごしてくれるのが何よりのプレゼントだよ」と話してくれました。その言葉を聞いて、私もとても温かい気持ちになり、家族で過ごせる幸せを感じました。

このように、母の誕生日は、手作りの料理と共に 家族の時間を楽しむことで、特別な一日となりました。家族みんなでの団らんは、ただの食事以上のもので、家族の絆を深め、感謝を伝える大切な時間となりました。

■ 思い出の場所

食事を楽しんだ後、私たちは母との思い出が詰まった場所である公園へ行くことにしました。そこは、私が小さかった頃によく母と訪れていた公園で、母のたくさんの思い出が詰まっています。私も、母にとっても、ここは特別な場所なのです。実家から少し離れた場所にあるため、家族みんなで車に乗り、ドライブを楽しみながら向かいました。道中では、家族で昔の思い出を語り合いました。母は、「小さい頃、よくここで遊んだね」、「あの頃のあなたは元気に走り回っていたよね」と懐かしそうに話しながら、笑顔を見せてくれました。その母の言葉を聞きながら、私も当時の記憶がよみがえり、心が温かくなりました。

公園に着くと、ちょうどその日、公園で地元のイベントが開催されていたのです。色とりどりの旗が飾られたテントや屋台が並び、地元の人々でにぎわっていました。子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿や、笑顔で食べ物を楽しむ家族連れの姿を見て、私たちもそのにぎやかな雰囲気になんと心が弾みました。イベントには、たくさんの屋台が出ていました。たこ焼きや焼きそば、綿菓子などの屋台があり、どれも美味しそうで見移りしてしまいました。母は、「せっかくだから何か食べようか？」と誘ってくれ、私たちは焼きそばとたこ焼きを一緒に買いました。

屋台の食べ物を分け合いながら食べるのは、まるで子どもの頃に戻ったような気持ちで、とても楽しいひとときでした。

また、イベント会場の中央には、小さなステージが設置されていて、地元の子どもたちが踊りや歌を披露していました。母は、子どもたちの一生懸命な姿を見て、「かわいいね」と微笑んでいました。私たちも自然と拍手を送り、彼らの一生懸命なパフォーマンスに元気をもらいました。母も楽しそうにその場の雰囲気を味わっていて、私もその様子を見て嬉しい気持ちになりました。公園内を歩きながら、家族で写真を撮ったり、昔と変わらない風景を眺めたりして、たくさんの思い出を話しました。母は、「ここでみんなとこうして過ごすなんて、幸せだね」と言ってくれました。その言葉に、私も「母が幸せそうよかった」と感じ、この日がますます特別なものになりました。

家族でこのように思い出の場所を訪れることや、地元イベントに参加することは、家族の絆を深める機会となります。この日も、ただの場所ではなく、私たちの大切な思い出と新しい記憶が重なり合い、心温まるひとときになりました。

■母と語り合った心温まる時間

イベントを楽しんだ後、公園のベンチに座り、母とゆっくり語り合う時間をもちました。3月の少し肌寒い空気の中、枯れた木々の間から柔らかい日差しが差し込んでいて、穏やかな雰囲気が漂っていました。私は、「母がいつもそばで支えてくれていたから、今の自分があるんだな」と改めて感じ、その気持ちを少し照れながらも伝えました。母は私の言葉を聞いて微笑み、「あなたが元気に成長してくれることが、私にとって一番の幸せなの」と話してくれました。その一言に、母の深い愛情を感じ、私も心が温かくなりました。母は続けて「あなたが小さい頃は、いろんなことがあったね」と、私が幼かったころのエピソードを楽しそうに話し始めました。

母が語ったのは、私が初めて自転車に乗れるようになった時の話や、小学校で運動会を頑張った時の話でした。そのころの思い出が蘇り、私も自然と笑顔になりました。自転車の練習のとき、何度も転びそうになりながら母が支えてくれたことを思い出し、改めて感謝の気持ちが湧いてきました。また、母は「あなたがいろんなことに挑戦していく姿を見るのが、私にとっての喜びなの」と話してくれました。母のその言葉を聞いて、私は「これからも頑張ろう」という気持ちが強くなりました。母にとって、私の成長や挑戦が励みになっていたと知り、私も感動しました。母も私も、心が満たされた気持ちでその時間を過ごし、この日がさらに大切な思い出となりました。

家族との時間は、日常の忙しさの中で忘れがちですが、こうした特別な日に思い出出すことができます。

■家族全員で母に贈った感謝の手紙

公園での穏やかなひとときを過ごした後、私たちは実家に帰り、最後のサプライズを用意しました。それは、家族全員からの感謝の手紙です。普段なかなか口に出して言えない「ありがとう」の気持ちを、手紙に込めて母に伝えようと考えたのです。それぞれの手紙には、母への感謝や日々の支えに対する思いが込められています。私の手紙には、「母がいつも支えてくれるおかげで、今の自分がある」という感謝の気持ちを書きました。学生生活を送りながら一人暮らしをしている私にとって、母の存在は、今でも大きな支えです。この手紙には、日頃なかなか伝えられない感謝の気持ちをしっかりと込めました。

父の手紙には、「これまでの家族のための努力に感謝している」という言葉が書かれていました。父はあまり感情を表に出さない性格ですが、母の支えがあってこそ家族が成り立っていると、心から感謝しているようです。妹の手紙には、「いつも笑顔で迎えてくれる母が大好き」と、素直な気持ちが綴られていました。私たちは手紙を一つの箱にまとめ、母に渡しました。母は手紙を読み、少しずつ涙を浮かべ、最後には「本当にありがとう」と優しい笑顔で話してくれました。その表情を見たとき、私たちも心が温かくなり、母が喜んでくれたことにほっとしました。

日本では、手書きの手紙は特別な贈り物とされています。家族への思いを手紙にすることで、普段言葉にできない感謝の気持ちを伝えられるのです。母も、手紙を大切に、きっと時々読み返してくれるでしょう。

■家族の絆

こうして、母の誕生日の一日が終わろうとしていました。母にとっても私たち家族にとっても特別な一日となりました。母は、「今日は本当に幸せな一日だったよ。こんなに考えてくれてありがとう」と、優しく話してくれました。母へのプレゼントとして贈った観葉植物も、母がとても気に入ってくれました。母は、「この植物、リビングに飾ったら毎日元気をもらえそうね」と微笑みながら話していました。観葉植物は、忙しい母でも簡単に育てられるように、少ない水で元気に育つものを選びました。緑が好きな母にぴったりの贈り物でした。母は、「この植物を育てながら、今日のことをいつでも思い出せるね」と言ってくれました。その言葉を聞いたとき、私も母の毎日の生活に少しでも彩りを添えられるものを贈ることができて良かったと感じました。

日本では、家族全員で一緒に過ごす時間や、特別な日に家族が集まり、感謝の気持ちや思いを共有することがとても大切にされています。

たとえば、お盆やお正月、祝日などは家族が集まる伝統的な行事として知られています。お盆は、先祖の霊を迎えて敬うために家族が集まり、先祖への感謝と家族の絆を再確認する機会です。お正月も同じく、家族が一堂に会し、新年の健康と幸せを願う場となっています。家族でおせち料理を囲みながら、互いの無事を喜び合う時間は、日本の伝統的な家庭の温かさを感じるひとときです。誕生日も、家族が感謝や愛情を表現する貴重な機会です。誕生日には、普段は言えない感謝の言葉を伝えたり、特別な食事やプレゼントでその人を祝ったりします。

このような日を通じて、家族一人ひとりの存在を改めて大切に感じ、互いの関係がより深まるのです。この一日を通して、私たちも改めて家族の大切さを感じ、普段の生活で気づきにくい家族への思いを再確認することができました。来年もまた、家族みんなで母の誕生日をお祝いしようと心に決めました。母もリビングに飾った観葉植物を見ながら、私たち家族が健康で幸せに過ごせるようにと願っている様子でした。母の誕生日を通して、家族全員が一つになり、心の中で感謝の気持ちを確かめ合えたことは、私たちにとってかけがえない宝物となりました。

「母の誕生日」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

